

平成27年度 第2回生駒市スポーツ推進審議会
会議録（要旨）

日時 平成28年2月25日（木）午後1時30分から
場所 生駒市コミュニティセンター206会議室

◎ 出席委員（敬称略）

池田誠也、松岡 誠、下山 明、城山英章、城山ゆかり、辻本丈夫、本摩恒利
欠席委員（敬称略）

大辻哲男、笠原太志、吉田利幸
（事務局）生涯学習部長、スポーツ振興課長、スポーツ振興係長、スポーツ振興係員

内容

- 1 スポーツに関する市民意識調査結果報告について
- 2 生駒市スポーツ振興基本計画の見直しについて
- 3 その他

会議内容

1. スポーツに関する市民意識調査結果報告について

<会長>

次第1.「スポーツに関する市民意識調査結果報告について」事務局から説明を。

<事務局>

「スポーツに関する市民意識調査結果報告について」について説明

（別冊資料「スポーツに関する市民意識調査調査結果報告書」を参照）

1. 調査概要（P1を説明）
2. 生駒市スポーツ振興基本計画における目標値に対する現状（P2を説明）
3. 調査結果の分析

(1)現在の運動やスポーツの実施状況について

- ・年代別結果（P9）
- ・運動やスポーツを行っている理由（P13）
- ・運動やスポーツをあまりしていない理由（P10）
- ・現在行っている運動やスポーツについて（P14）

(2)今後の運動やスポーツに対する意向について…約8割の人が運動を続けたい、始めたい

- ・今後やってみたい運動、スポーツ…性別や年代を超えてウォーキングや散歩が1位
- ・運動やスポーツをしたい目的…健康の維持、増進→体力筋力の向上→運動不足解消
- ・どのくらいの頻度で行いたいのか？…週に1～2回が約半数
- ・誰と行いたいのか？…友人や知人が1位（その反面の「一人で」が次いで2位）
- ・どの様な場で行いたいのか？…公共施設が1位→民間スポーツ施設2位
- ・1ヶ月の負担額は？…5,000円未満が約7割

(3)公共スポーツ施設について…利用したことがない46%

- ・どの様な点が不満か？…施設がたりない約45%

- ・公共スポーツ施設に望むこと？…身近で利用できるよう施設数の増加施設の増加

(4) 子どもの運動やスポーツについて… (P 4)

(5) 高齢者と障がい者のスポーツについて… (P 5 4 参照)

- ・環境整備…高齢者スポーツ、障がい者スポーツとも、市民にとって分からないのが現状

(6) 総合型地域スポーツクラブについて… (P 5 を説明)

(7) 市・市教育委員会の施策・事業について

- ・市が主催するスポーツ大会や教室…約 3 割の人が知っている

- 参加事業…市民体育大会→各種スポーツ教室→生駒山スカイウォークの順

- ・どのような内容であれば参加したいか？

- ・スポーツ、健康に関する広報や情報提供は？…もっと情報提供を行ってほしい約 5 割

- ・今後の市のスポーツ振興に力を入れるべきこと？ (P 7 3)

調査結果としては、こういった順で出ていますが、2 番目の施設の整備についてはハード面の話となるため、高齢者や障がい者、子どもも含め全ての人が、スポーツをしたいときに気軽に楽しむことができる仕組みづくり、例えば総合型地域スポーツクラブの活動支援などをすすめていければと考えています。

- ・その他、学校体育施設の開放について質問の説明 (P 6 9 参照)

<会長>

スポーツに関する市民意識調査結果報告について、事務局から説明がありましたが、何かご意見、ご質問は。

<委員>

総合的に見たら評価は？

<事務局>

内容によっては非常に嬉しい回答もありましたが、総合型地域スポーツクラブという言葉はあまり知られていません。いこ増ッスルクラブ、リトルパイン、プロストリート関西などのクラブ名を聞いていたらまた違った結果になっていたかと思います。総合型の認知が低いというのと、その元となる基本計画も知られていなかったのは残念なところです。

<委員>

みなさん運動したいという気持ちはあるが、取っ掛かりがなかなか無い。この前、上中で豚汁無料のスポーツイベントをしたが、たくさんの小学生が保護者と参加された。

やはり知っていただくためには、食べ物を提供するような楽しいイベントは必要だと思う。

<委員>

東地区自治連合会の防災訓練の時、炊き出しをしたら参加者数がすごく多い。食べ物ばかりというのはあまり感心しないが、人を寄せることが一番大事なので取っ掛かりとしては非常に良いと思う。市民を寄せて意識を変えていかなければいけないと思う。

<委員>

そういうイベントで気持ちが癒されるので、いい意味の取っ掛かりになると思う。

<委員>

料理をする人は大変ですが、そういうことを色々な場所でしてみても良いのではないかなと思う。

<委員>

井出山体育施設で 12 月に餅つきをしました、その時が一番集まりました。いつもは来ないおじいちゃん・おばあちゃんがお孫さんを連れてこられて和気あいあいとして良かったと思う。

東京では、あるブースでは野球連合会が的当て大会を、あるブースではサッカー連合会がお子さんでもできるようなサッカー教室をしていました。私の方は体力づくり大会をしていましたが、そのようなイベントをしているブースには非常に多くの市民の方が参加されていた。

そういうきっかけづくりを私たちで何か作れればと思う。

<委員>

データは、ほとんどの人がスポーツ好きと言っている。それなのにあまりしていない理由は、きっかけがない・仕事や育児で時間がないということだが、そのところを市がどうすればいいかということだと思う。イベントをして集まった人たちが、次の日からどういうスポーツを続けてくれるのか？本当の生涯スポーツというのは日本では根付いていない。これは学校教育も考えなければいけないと思います。口では生涯教育を教えていかなければいけないと言っているが、いざ卒業したら色々な理由でどうしてもスポーツから離れてしまう。だから良い手立てはなかなか見つからないと思う。でも、そういう場を一つでも増やしていくことが大事だと思う。生涯教育・スポーツ推進の手立てのポイントがそこにあると思う。

お弁当を出したら義務的に競技をすることはあるが、本当にスポーツをしたいという人が少ない。そのあたりをどのように手立てして市民の人達が喜んで参加するか、そのために一緒に考えていかなければいけないと思う。

<会長>

色々と意見が出たが、審議会としてスポーツの推進について検討していきたいと考えます。

2. 生駒市スポーツ振興基本計画の見直しについて

<会長>

議事2.の「生駒市スポーツ振興基本計画の見直しについて」について事務局から説明を。

<事務局>

○基本計画前期計画の検証評価について説明（資料1を参照）

主要な施策ごとに前期計画推進期間中の取組状況を踏まえて、【A.計画以上の成果が達成された施策】、【B.概ね計画通りの成果が得られた施策】、【C.計画通りの成果が得られなかった施策】に区分して評価した。

○後期計画の策定方針（案）について説明（資料2を参照）

この後期計画は、生駒市教育大綱を実現させるアクションプランと考えているため、教育大綱策定の進捗に合わせながら、追加や修正を行っていきたいと思っています。

1. 後期計画の趣旨（前期計画策定以降の主要な変化点）

(1) スポーツ基本法の施行及びスポーツ庁の設置

生駒市スポーツ振興基本計画の策定後、国において「スポーツ基本法」が制定されました。

スポーツ基本法に基づき「スポーツ基本計画」が策定され、「年齢や性別、障害等を問わず、広く人々が、関心、適正等に応じてスポーツに参画することができる環境を整備すること」を基本的な政策課題として政策目標が設定されました。

奈良県においても「奈良県スポーツ推進計画」が策定され「生き生きと安心して健やかに暮らせる健康長寿の奈良県」を目指す姿として運動・スポーツの推進に取り組むとされています。

また、スポーツ基本法に基づき、昨年10月には文部科学省の外局として「スポーツ庁」が設置され、スポーツ振興に対する組織体制の充実が図られました。

(2) 2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催

2020 年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されることから、国民のスポーツに対する関心が高まることが期待されており、これを契機とした様々な分野の活性化につなげていくことを目標として様々な施策等に取り組んでいくこととされています。

(3) 市内総合型地域スポーツクラブの設立

市計画策定当時は、総合型地域スポーツクラブが未設立であったが、現在「いこ増ッスルクラブ」、「プロストリート関西」、「リトルパイン」の 3 クラブが設立されました。

今後は、各クラブの活動のさらなる拡大や新たなクラブの設立等を行政として支援していくことが求められています。

(4) 「北部スポーツタウン構想」の策定及び生駒北スポーツセンターの開設

北部地域の活性化及び市計画を推進する施策の一つとして、「北部スポーツタウン構想」を策定し、本構想に基づき生駒北スポーツセンターを平成 27 年 2 月に開設するとともに、本センターを拠点とした様々な事業を展開していくことが期待されています。

2. 前期計画の評価・検証や市民意識調査結果を踏まえた後期計画に盛り込むべき課題等

(1) 前期計画の評価・検証による課題

①数値目標の達成度（資料 2 P 2 表中を説明）

②各施策における達成度

達成度につきましては、先ほど説明した「生駒市スポーツ振興基本計画取組達成評価」のとおりになっております。

(2) 市民意識調査結果の分析による課題

先ほど説明した「スポーツに関する市民意識調査」の結果を分析し、課題を下記の 5 項目を整理しました。

- ・気軽に運動やスポーツを行うことができる環境の整備・充実
- ・地域での健康維持・増進に着目した高齢者向けの運動・スポーツ機会の提供
- ・障がい者の運動・スポーツを行う環境づくり
- ・総合型地域スポーツクラブの活動内容等の周知と育成強化
- ・スポーツに関する情報提供体制の充実と指導者の人材育成・活用

3. 策定方針（案）

後期計画の策定においては、前期計画における基本理念や計画体系をベースとしつつ、下記の 3 項目について新たに追加・変更を行った上で、社会情勢等の変化や前期計画における課題等を踏まえて、後期計画を策定していきたいと考えています。

①スポーツ基本法、スポーツ基本計画、奈良県スポーツ推進計画及び生駒市教育大綱を踏まえた計画策定

②総合型地域スポーツクラブの認知度向上・育成強化

③子ども、高齢者、障がい者の運動・スポーツ活動支援

なお、名称については、前期計画策定後に制定された「スポーツ基本法」の趣旨等に合致したものとするため、後期計画については「生駒市スポーツ推進計画」に名称を改めることと考えています。

○障がい者団体、障がい者スポーツ団体等に対する障がい者スポーツ推進に関する

意見聴取内容（案）について説明後期計画の策定方針（案）について説明（資料 3 を参照）

この案をもとに障がい者施策担当課（障がい福祉課）と調整の上、意見を聴取する予定です。

<会長>

生駒市スポーツ振興基本計画の見直しについて事務局より説明がありましたが、何かご意見、ご質問は。

<委員>

スポーツ少年団の登録は厳しくなったか？

<事務局>

有資格者の指導員が1名から2名必要ということになりました。また、来年度のことになりますが全てネットでの登録となります。今まで紙ベースでしたので、そのあたりがもしかしたらできない団があるかも分かりません。

指導者の登録が2名になったことで、来年度は指導者人数を確保できない団も市内では出てきています。少年団の活動中の事故や指導の方法などの問題で、安全にスポーツ活動を行えるように指導者を増やすこととなったかと思います。

団の運営として2名体制をとることができない団も出てくるとと思いますが、県が開催する講習会等もありますのでそちらの方の講習を受け資格をとっていただければと思います。

<委員>

生駒市は現在12団体ありますが、その中で欠ける可能性はあるということですね

<事務局>

はい。

<委員>

高齢者・障がい者の団体等のスポーツ活動ということですが、生駒市の場合はスポーツ振興課ですか。それとも障がい福祉課が主体としてやっていくのか？

<事務局>

基本的にスポーツ振興課が中心となって実施していくことになるかと思います。

ただし、他課とも協力していきます。

<委員>

先ほどスポーツ少年団の有資格指導者が1名から2名になったと聞いたが、1名だと何か不都合があるのですか？1名なら能力的に無理ですか？指導者になるということは一定の基準をクリアしているということだが、どこでそれを判断しているのか？

<事務局>

あくまで日本体育協会内の日本スポーツ少年団に登録する団だけの話になります。

やはり団となると最低でも数十人はおられますが、団体の規模によって何人が相応しいのかというのは変わってくると思います。

今回話の出ているスポーツ少年団は10名以上の選手登録が条件となっています。

事故を未然に防ぐということもあって、運営上2人以上を置くということになっているのかとも考えています。

より安全にスポーツ活動を支えるために有資格指導者が2名以上必要ということに去年からになりましたが、奈良県では今年度は経過措置で1名以上で、その間にもう1名有資格指導者を増やす講習会を受講することになっていました。

<会長>

他にございませんか？

<委員>

資料3に障がい者スポーツが書かれているが、どの様に計画に盛り込んでいくのか？

<事務局>

関係団体や関係者等に意見を聞きながら、実現可能なこととして計画の中に盛り込めたらと考えています。

<委員>

当然、バリアフリー化という話もでてきて予算も必要となるのでは。

<事務局>

市内のスポーツ施設については一定のバリアフリー化がなされています。

<委員>

障がい者スポーツの大会は、国や県でもやっているが、本市から全国大会などに出場された方はいるのか？

<事務局>

今年度、市内の高校生1名が、全国障がい者スポーツ大会の陸上競技の100mと200mに参加されました。

<委員>

市内の高校の自転車競技部の生徒が頑張っているので、自転車に力を入れるのはどうか？
ならクルの標識がたくさんあるが利用されているのかとも思っていた。

<事務局>

チャリログいこまの運営は、奈良北高校自転車競技部に協力してもらっています。

3. その他（生駒市スポーツ振興基本計画後期計画策定スケジュールについて）

<会長>

議事3. その他について事務局から説明を。

<事務局>

○後期計画策定スケジュールについて説明

<会長>

その他について、事務局から説明がありましたが、何かご意見、ご質問は。

<委員>

現在のスポーツ推進審議会委員は、本年6月に任期満了か？

<事務局>

現委員の皆様方につきましては6月30日までが任期となります。

<会長>

その他、全体を通じまして何かありませんか。

<委員>

[質問なし]

<会長>

ないようでございますので、平成27年度の第2回スポーツ推進審議会はこれを持って終わらせて頂きます。